

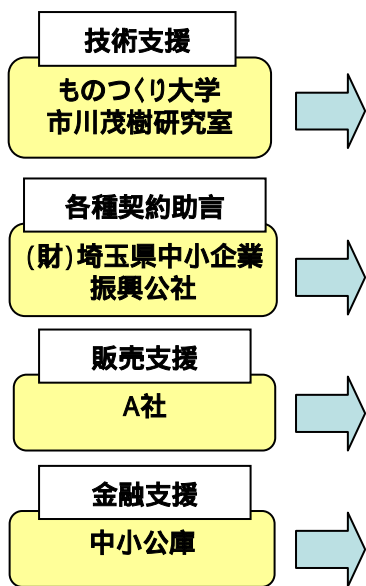
地域	埼玉県入間郡越生町	認定日	平成19年6月22日	3 - 19 - 076
事業分類	製造(金属・同製品)	テーマ分類	基盤技術	

## 事業名: 多数の突起を持つ板金プレス部品のバリ取装置の開発と製造・販売

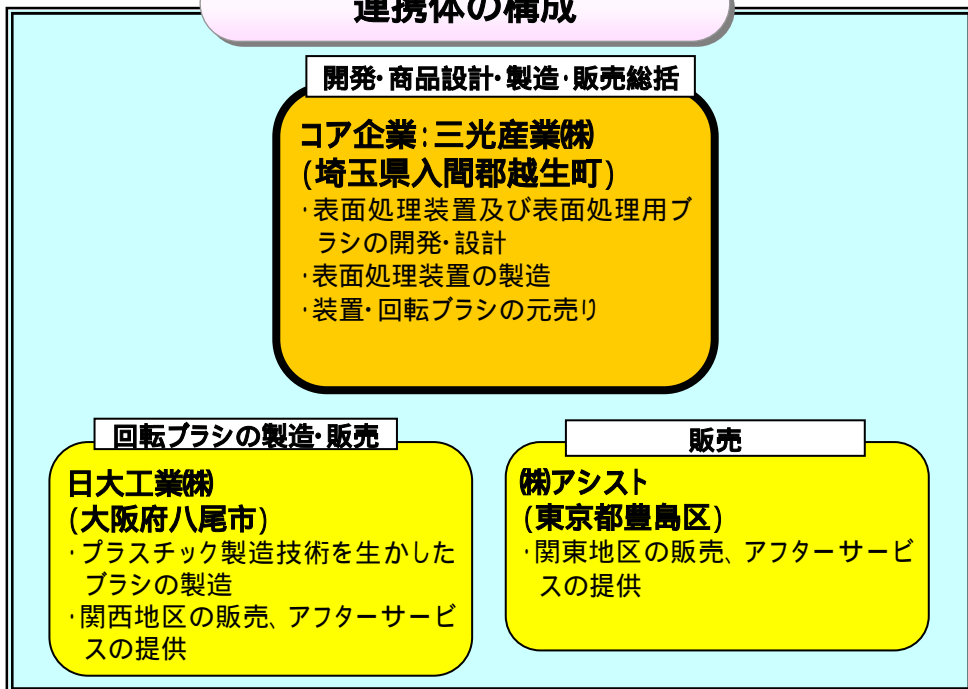
### 事業概要(新規性、市場性等)

- 多数の突起を持ち、バリがとりにくい形状が増えてきている板金プレス分野においては、多品種少量生産も加わり手作業によるバリ取作業依存がコストを圧迫している。こうしたなか、従来の輸入製品である高価な自動バリ取機より機能及び性能で勝り、さらに形状がコンパクトで価格を半分にまで下げた画期的なバリ取装置を開発した。
- コア企業の開発製品は、複数のサンドクロス条片を発泡スチロール回転筒に埋め込んだ回転ブラシによるバリ取機であるが、傾斜した回転ブラシ2本を使用することで、製品全体に隙間なくブラシが当たり、さらに突起部分にブラシが絡みつくことにより、バリ取性能を一層向上させた。
- 板金プレス生産装置の国内トップメーカーが自社チャンネルでの販売を検討しており、OEM供給も視野に入れている。また、中小板金プレスの同業者からの評価も高く、回転ブラシなどの消耗品と合わせたビジネスも期待できる。

### 事業推進体制



### 連携体の構成

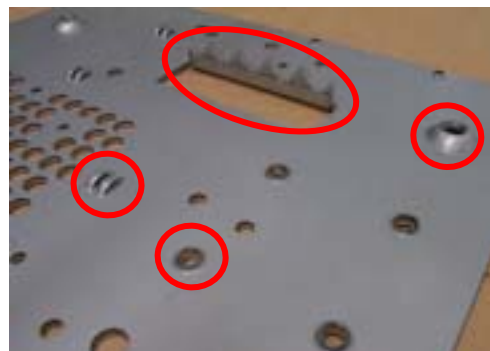


### 支援予定メニュー

補助金  
低利融資(中小公庫)  
設備投資減税  
特許料減免



開発した実験機によるバリ取り



多数の突起を持つ板金プレス部品

## 連携のきっかけ、特徴

・コア企業は、精密板金加工業でNCターレットパンチングプレス、NCタッパー、NCベンダー、溶接ロボット等を駆使し生産活動をしている。しかし最近では、バーリング、円ボス等突起が多い部品が多くなり平板用バリ取機は使用できず、バリ取りは人手に頼ることが多くなり収益を圧迫するようになった。その為に新しいバリ取機の開発をおこなう必要があった。

コア企業は、今までOEM生産が主で販売部門を持っていない。そのことから、販売部門に強い卸売業と連携に至った。

### 連携の特徴

コア企業の特許技術を活かし、業界全体の共通課題の解決をはかる。

連携企業の開発・製造・販売能力の効果的な融合による事業化。

## コア企業の会社概要

企業名・代表者	三光産業株式会社 代表取締役社長 堀 武美	
所在地	埼玉県入間郡越生町越生東3丁目11番2号	
創業	昭和19年3月	
資本金・従業員数	2,000万円	155名
業種	他に分類されない金属製品製造業	
TEL	049-292-3232	
FAX	049-292-3235	
ホームページ	なし	
e-mail	t.hori@sanko-sangyo.jp	

## PR等その他の情報

- ・バリ取り用ブラシ各々の、回転数スピード・高さの調整が可能のため、高さ100mm程度の凹凸がある3次元形状のワークのバリ取りが出来る。
- ・仕上がり面が均一なため、表面研磨・ヘアライン等の各種表面処理機としての活用が可能。
- ・ワークリターン用コンベアーの設置が可能のため、ワーク挿入後、作業員1名で作業ができる。
- ・乾式バリ取機のため、メンテナンスの容易さと、乾燥工程が無く手離れが良い工程が出来る。